

「和」をもって、共存共栄を目指す情報紙。
Takebashi Community Press

竹橋 コミュニティ プレス

November 2007 28号

平成19年11月8日発行

発行人/犬養 俊輔
発行/株式会社 帆風
編集長/小原 紹一郎
編集/株式会社 帆風 小原デザインセンター
スタッフ/佐藤 宏幸・横田 みえこ・井口 健太郎・嶋脇 章恵
画像補正/山田豊
CTP印刷/竹橋プリンティングセンター

第3期「コミュニティ」委員 就任の挨拶。



株式会社サンエムカラー
松井勝美氏

委員に再選されまして気持ちを新たに
取り組まねばと痛感しています。

2年前、スタート時の初代委員長に選任さ
れその後、2年間委員長の重責を担いながら
頂きました。当初は皆様と共に語り合っ
たことにより、各企業の発展を願い私なりに目標
を掲げ取り組んでまいりましたが、時間の経過と
共に、初心の意欲も失われつつ目標も達成出
来ず今日に至っています。日常の忙しさに
追われていへば言いつけになります。今年
度も反省の日々で終わらざることを願います。

来年度は、早い時期に各委員と事務局が一
体となって課題及び各企業の問題について意
見交換を充分に行い、明確な新年度目標を立
て会の運営に全力で取り組む所存です。

又昨年創立されました株SVCの効果も
ありビジネスの繋がりが益々深まっています
私がお望みの和やかな良い意味での
同志的な雰囲気も伝わってきます。大賛同
が求められる理想的企業集団がSVCの
創立より前進したものと感ずられます。
中小企業でも、電通・博報堂・大日本印刷

10月2日の交流会に於いて、3期目を迎える「
コミュニティスクエア」の新委員16名(新任8
名)が決定した。「コミュニティ」運営を担う委員
メンバーから、その抱負が寄せられた。(順不同)

版印刷を相手に戦わねばならない状況です。
この時期に迎えるのは「コミュニティ」で培
ってきた人脈・外部リソースであり、
ある人曰く「大手と言えども、全部社内に
スタッフを抱えているわけじゃありません」
と、要は頼りになるアウトワークです。と、
「コミュニティ」の集結は助っ人集団であり、
専門分野の集団であるメンバー間の交流を大
切にし、共に勉強し、共に発展していければと
考えています。よろしくお願いたします。



株式会社やまとカーボン社
瀧本 正明氏

石の上にも3年、3年目の浮気産産坂？
(清水寺に続く坂道、この道を通って清水寺に
お参りすれば安産と言われています。)
竹橋に来て3年目、色々な先輩諸氏に恵ま
れ勉強させて頂き有難う御座います。

長い様で短かった3年間、私達委員会は皆
様の為になる講演会等開催してきましたが喜
んで頂けたか？毎月委員会でお話を絞
り、成果の上がる企画を今後も続け、皆様から
の「意見も頂き、発展に繋げていきます」
今、帆風ではプリントマネジメントの営業
を展開しています。日本全国にプリントマネ

ジメントが蔓延したと云う事か？半分印
刷会社が必要なくなる事でしょう。生き残る
為には「コミュニティ」の団結力が今以上に必要
になってくる事は、皆様「理解」して下さい。



三協タックラベル株式会社
兵藤 芳郎氏

第1期から委員をやらせて頂いてますが
もつ3期になるのか、と感慨深く受け止
めています。

手探りの第1期、ほぼ整理がついた第2期
と捉え、発展・展開の第3期と云う事
でしょうか。今期はより一層の交流を深める為
に、クラブ活動あるいはイベント後援会的な
形でできれば、と考えています。
プースの担当者の方は、本当に良い意味
で仲間と呼べるようになったなあ、と感じ
ます。地方から一人出てきて、あるいは会社
から放り出されて、あるいは任されて、東京で
事務所を構え、新しいフレッシュ、ストレスだ
と思うのですが、このプースの仲間が、そん
なこんなを癒してくれるのだと思います。
実務者の為には、プースの為に、ひいては未
だの会社様の為には、なんらかのお手伝いが出来
れば幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

竹橋コミュニティスクエアのメンバーご紹介

- 1 星野製本株式会社
- 2 株式会社システムナム
- 3 福島カラー印刷株式会社
- 4 株式会社サンエムカラー
- 5 株式会社やまとカーボン社
- 6 株式会社日相印刷
- 7 株式会社三幸堂
- 8 株式会社三光
- 9 三協タックラベル株式会社
- 10 石本紙工株式会社
- 11 数島印刷株式会社
- 12 マコト印刷株式会社
- 13 白山印刷株式会社
- 14 大日紙業株式会社
- 15 株式会社光陽社
- 16 株式会社ジャパンアート
- 17 株式会社ウイズプリンティング
- 18 ユニオン印刷株式会社
- 19 株式会社渋谷文景閣
- 20 ハート株式会社
- 21 大阪シーリング印刷株式会社
- 22 株式会社サンセイ
- 23 二葉印刷株式会社
- 24 北斗印刷株式会社
- 25 株式会社梅垣ラベルサービス
- 26 野崎工業株式会社 / 東洋印刷株式会社
- 27 株式会社イーアンドイー
- 28 株式会社イマイチ
- 29 佐川印刷株式会社
- 30 高山印刷株式会社
- 31 大享印刷株式会社
- 32 凸版メディア株式会社
- 33 新日本カレンダー株式会社
- 34 福州信日印刷株式会社
- 35 旭紙工株式会社
- 36 株式会社あるす
- 37 ビーエムシー株式会社
- 38 中部印刷株式会社
- 39 株式会社大包
- 40 滝川印刷株式会社
- 41 株式会社タイム
- 42 株式会社トウユニバック
- 43 富士印刷株式会社
- 44 株式会社セイコー紙業
- 45 彩光印刷株式会社
- 46 宮下印刷株式会社
- 47 大同紙工印刷株式会社
- 48 末広印刷株式会社
- 49 株式会社図書印刷同朋舎
- 50 有限会社プロセスレボ
- 51 株式会社エスケイワード
- 52 株式会社大和



(ナンバー、順序はプース番号順・敬称略 / 11月8日現在)



マコト印刷株式会社
戸松 保彦氏

「コミュニティスクエア」委員の皆様におかれ
ましては、ますますご清祥のこととお喜び申
し上げます。平素は格別のお引き立てにあ
り、厚く御礼申し上げます。

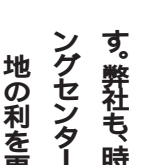
さて、この度新委員に専任されましたが、特
に「コミュニティスクエア」の「コア」コン
スリに少しでもお役に立てるよう、微力では
ありますが努力する所存でございます。



彩光印刷株式会社
中村 毅三郎氏

前期より引き続き第3期の委員として1
年間皆様とご一緒させていただきました。また
また、職下課長、各委員の方々のプースの目標
にお世話をお掛けすることが大変多くなると
思います。ご指導、ご鞭撻、よろしくお願
い申し上げます。

皆様には、日頃より大変お世話になりあり
がと云うことです。昨年に続き、3年目の本年
も委員を努めて頂くことになりました。
『出会い』『ふれあい』から更に、皆様と交流
を深め情報交換を活発化し、全社がビジネス
面、実務面に共有できる真の「コミュニティ」に



旭紙工株式会社
橋野 昌幸氏

つながらっていく年になると確信してありま
す。弊社も時を同じくして3年目を迎える「
センター」で迎えてあります。

竹橋でお世話になって早3年です。その間
竹橋を足がかりに、当社の東京営業も少しす
つですが成果を上げることができております。



株式会社図書印刷同朋舎
平瀬 克哉氏

「コミュニティ」も発足3年目を迎えます。は
じめの頃は、お世話になりました。全国から同業
種の会社が集まり、「コミュニティ」の一員と
なり当初の不安、をよそに文字通り「ミ
ニ」を深められていることに感謝すると
共に、機会を与えて頂いたことに改めて感謝
しております。

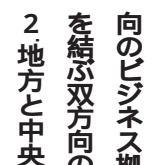
この「縁」を大切に、より一層の盛り上
がりを見れるよう、微力ではありますが一生
懸命努めさせていただきます。所存です。
風通しの良い委員会になればと願っており
ます。どうぞよろしくお願い致します。



株式会社渋谷文景閣
安藤 文成氏

この度、第3期新委員に選任されましたと
うですので、よろしくお願い致します。

当社が「コミュニティスクエア」に入居させて
いただいたから、丁度2年が経ちました。当初
3ヶ月程常駐を置いたこともありましたが、
現在の当社に於いて「コミュニティ」の位置
づけは、良く言えば情報収集の拠点、名刺に東京
の住所電話番号を入られる、でも普段は荷
物置き場、というのが正直なところではす。し
かし、今回私が第3期新委員に候補に選ば
されたのは、今後当社が「コミュニティ」に席を
置いて、東京という日本最大のビジネス市場
と係わることで、実質的に多くのメリットを
享受出来るようにするため、誠に僥倖なも
の言い分はありますが、「コミュニティ」の役
割を、当社にとって戦略的にも戦術的にも、よ
り活性化して行く必要があると考えるに至
りました。そして、それは皆様にも共通する
課題であるとも考えます。その上で、私見の提
案をいくつか簡単に述べさせていただきます。



株式会社日相印刷
荒井 洋光氏

「コミュニティスクエア」に入居して3年目
になりますが、今まで、全体会議、実務者交流会
になかなか参加出来ず、皆様との意見交換等
が出来ませんでした。



ユニオン印刷株式会社
寺澤 昌吉氏

約1年間、皆様にお世話になっており
ますが、静かな田舎では出来ない体験、何より
モノハウが日に日に増える喜びを感じてお

り、帆風様はじめプース内の企業様とも、これ
まで以上に助け合いながらお互いに発展して
いければと考えております。
若輩者の私に何が出来るのか不安でもあり
ますが、一生懸命努めさせていただきますので宜
しくお願致します。



数島印刷株式会社
江嶋 侯博氏

第3期「コミュニティスクエア」委員に就任
いたしました数島印刷の江嶋侯博と申します。
今後、より一層「コミュニティ」を強い結束の
もつ強いネットワークで結ばれた集団に
していきたい。そんな願いを込めて、微力ながら
精一杯頑張っていくつもりですので、皆様ど
うかよろしくお願い致します。

量子論・粒子論。かの相対性理論と並び
称される物理学の理論で、簡単に言つと物質
の最小形は波で常に動いており、人が見た瞬
間にその物質が形成されるといふ考えです。
極論を言つと、壁にサッカーボールを蹴り
続けたら、素通りする可能性も否定できな
い(そうです)。私の理解が間違っている可能性も
あるため詳しくは専門書を参照下さい。
物質だけではなく世の中の情勢も流動的な
昨今、各社様々な経営「シジョン」を持つに
にせよ、このような大きな企業集団の委員と
して運営に携われる事を誇りに思うと共に、
身が引き締まる思いでございます。

個人的には、「コミュニティ」を営業ツ
ルとして活用し日々活動しておりますが、実
務者レベルでの日常営業活動の成功・失敗談
等をディスカッションできる場などを設け、
今後の活動に活かしていくのも一つの方法だ
と思っております。
冒頭に申し上げましたが、物質は流動的で
き、「コミュニティ」の結果は固定的なもの
にしていきたく思っております。この概念
は科学的には証明できない人と人とのつなが
りて生まれるのですから、